

科目名	制御工学Ⅰ Control EngineeringⅠ			担当教員	田嶋 眞一		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	13236023	単位区別	履修
学習目標	あらゆる工業分野において、フィードバック制御による工程の自動化・省力化が広く浸透し、いまや産業界を支える技術の大きな柱となっている。このフィードバック制御系の基礎的事項について理解するとともに、周波数応答を用いた古典的な制御理論と、その代表的設計手法である直列補償法を理解する。さらに、制御対象の伝達関数が与えられたとき、これらの設計法の指針に従い試行錯誤によってコントローラの設計法を習得する。						
進め方	教科書に沿った講義を行う。各学習項目の内容と例題の解説を行う。適宜、練習問題・類題のレポート・小テストを課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 授業のガイダンス(1) 2. 制御工学の概要(1) 3. 基礎数学(12) (1) 複素数・複素関数 (2) 積分変換 (3) ラプラス変換 ----- [前期中間試験](2)			フィードバック制御の発達および制御系の基本的構成について理解する D2:1,D4:1 線形連続時間系の取り扱いに必要な複素関数およびラプラス変換について理解する D1:2			
	4. 試験の返却と解答(2) 5. 制御系の表現(8) (1) 基本要素とその伝達関数 (2) ブロック線図 6. 制御系の応答(4) (1) 時間領域における応答 (2) 周波数応答 前期末試験			制御系の表現法について理解する D2:2 制御系の時間応答と周波数応答について理解する D2:3			
	7. 試験の返却と解答(2) 8. 制御系の応答2(4) (1) 過渡応答と周波数応答の関係 9. 安定判別(8) (1) ラウス・フルビッツの安定判別法 (2) ナイキストの安定判別法 ----- [後期中間試験](2)			過渡応答と周波数応答の関係ついて理解する D2:3 制御系の安定判別法について理解する D3:2			
	10. 試験の返却と解答(2) 11. 制御系の性能とその評価(6) (1) 制御系と誤差 (2) 定常偏差 12. 制御系の計画(6) (1) サーボ機構の計画 (2) プロセス制御系の計画 後期末試験			制御系の性能と評価の方法について理解する D2:2 種々の制御系の設計法について理解する D2:2, E2:1			
	13. 試験の返却と解答(2)						
	評価方法						
	定期試験を60％、レポートを20％、小テストなどを20％の比率で総合評価する。						
	履修要件						
	特になし						
関連科目							
電気回路Ⅱ（3年）→ <u>制御工学Ⅰ（4年）</u> →制御工学Ⅱ（5年）、システム工学（5年）							
教材							
教科書：近藤文治編「基礎制御工学」森北出版							
備考							
わからないことは、授業中適宜質問すること。オフィスアワーは、月曜 16:30～17:00 であるが、E-mail[tashima@es.kagawa-nct.ac.jp]で予約することが望ましい。							